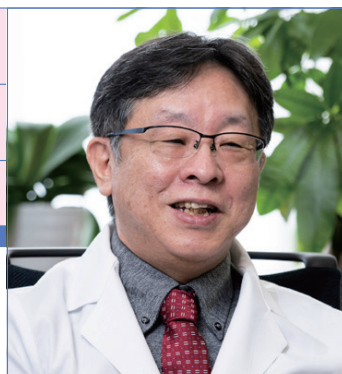


先進的な医療テクノロジーを生かして “活動長寿”に貢献できるがん医療を



国立がん研究センター
東病院 病院長
土井俊彦 先生

国立がん研究センター東病院(千葉県柏市)は革新的な研究成果をとらえ、がん医療の進化に取り組んでいる。病院長の土井俊彦先生は「患者さんが納得して自分の人生を生きられるがん医療のあり方を模索したい」と話す。

産官学ネットワークを生かし 医療テクノロジーを作る

国立がん研究センター東病院(以下、東病院)では「世界最高のがん医療の提供」「世界レベルの新しいがん医療の創出」をビジョンに掲げ、産学連携による網羅的ながん遺伝子情報の蓄積や臨床試験の開発、医療DXなどに積極的に取り組んでいます。

特に近年のがん医療は、患者さんの遺伝子変異に焦点をあてて治療薬を選ぶ「プレシジョン(個別化)医療」が中心となっています。現段階では、がんゲノム検査を受けて遺伝子変異に適合するがん治療薬が見つかる患者さんは10%程度と限定的ですが、免疫療法や

再生医療、遺伝子治療といった先進的なテクノロジーを組み合わせて、より多くの患者

さんに適した薬剤や治療法を届けられるでしょう。目指すは、多様な患者さんに対応できる次世代プレシジョン医療の構築です。

ここで重要なのは進化したがん医療が患者さんの望む人生の助けになっているかどうかです。がんの根治を目指す人もいれば、体の機能を残して日常生活を続けたいという人もいます。そのどちらの選択肢も尊重されるべき。次世代プレシジョン医療は、がん治療を経ても患者さんの生活の質を落とさない「活動長寿」を助ける医療にもなると期待しています。

新たな医療の創出は、東病院のみでなしえるものではありません。国立がん研究センター中央病院とこれまで以上に緊密に協力するとともに、学術研究都市である柏の葉という地域性を生かし産官学連携を強化します。2022年には企業と連携した「再生医療プラットフォーム」を構築し、研究・開発から生産

革新的治療創出を通じて社会貢献を目指しています。がんの治療を経ても、自分らしく暮らしていける。そんな未来を実現するために皆様の力を貸してください。(談)



お問い合わせ



国立がん研究センター基金
The National Cancer Center Foundation

国立がん研究センター中央病院 寄付募集担当

☎03-3547-5333

メール: ncckifu@ncc.go.jp

国立がん研究センター東病院 寄付募集担当

☎04-7133-1111 (内線91460)

メール: kifu@east.ncc.go.jp

